

目 次

はじめに 本研究の経過と課題	津 守 真	
I. 学校全体を巻き込んだ事件 89年度		1
1. 親との話し合い 89年度末	岩 崎 禎 子	2
(1) 親の思い		2
(2) 職員同士の話し合い		3
(3) 親との話し合いのための職員会での話し合い		5
(4) 合同懇談会		7
2. A子とS子とをめぐって 89年度	玉 木 喜美子	12
3. 幼稚部クラス担任の立場から 89年度	徳 岡 久 枝	20
4. 幼稚部の部屋に鍵をかけるに至った状況 89年度	西 原 彰 宏	22
5. S子とK夫の出会いに込められていると思えるもの 89年度	山 田 陽 子	26
6. 話し合うことの欠如について I子とG夫を巡る問題から見られること 89年度	白 井 貴 之	30
II. S子を育てた経過		36
○ 幼児期 3歳-5歳 (83年度-85年度)		
1. 外の世界のひらける頃 83-84年度	津 守 房 江	37
2. 幼稚園と家庭指導グループ 84-85年度	原 恭 子	42
3. S子の世界と関係の危機 84-85年度	山 手 法 子	46
4. 噛み付き考-実習生として	桑 田 智 雄	60
○ 小学部低中学年 6歳-9歳 (86年度-89年度)		
5. 小学部低中学年の頃のS子 86-89年度	上 川 路 加奈子	62
6. S子と幼稚部クラス	佐 藤 喜美男	68
○ 小学部高学年 10歳-11歳 (90年度-91年度)		
7. S子と私とのかかわり 90-91年度	千 田 道 子	70
8. 実習生と新任職員として	東 寛 子	78
9. S子の描画	持 丸 和 子	80
10. 写真記録を読む-S子の場合	板 野 昌 儀	82
11. 環境-その一試みとしての遊具作り	加 藤 洋	88
12. 雑感: S子をビデオで追っかけた日	浜 口 順 子	94
III. 一日記録とその考察		97
1. 子どもと保育者のかかわりと関係の形成について 実践報告に基づく, S子と保育者のかかわりの分析-	榎 沢 良 彦	98
2. 保育におけるコミュニケーションについて -実践記録に基づく理解構造の解明の試み-	榎 沢 良 彦	105
実践の場の研究者の立場からのコミュニケーション障害の考察	西 原 彰 宏	118